



明

倫

苫小牧市日新町3丁目5番13号

Tel. 0144-74-2146

Fax. 0144-74-2147

幸せは足りないものの中にある

苫小牧市立明倫中学校長 池田 健人

幸せの意味 みんなが不幸せだと言うことを僕がひとり幸せに感じている。

歩けない幸せ、話せない幸せ、食べられない幸せ、そんな幸せがあることを世の中の人みんな知らない。幸せは満ち足りた物の中にあるのではなく、足りない物の中にあることを僕たちはひそかに気づいている。小さいときから幸せを追い求めてきたけど、幸せはこの僕のこの体の中にある。

11月27日から4日間にわたり、ゲストティーチャーの〇〇〇〇さんによる「こころの授業」が全教室で行われ、命の尊さや大切さについての熱いメッセージが届けられました。古屋さんの「こころの授業」は学年によってテーマは異なりますが、共通している内容は「命」「生きる」「幸せ」でした。なかでも、滑脳症を患い全身が不自由になった4歳の子の思いをしたためた冒頭の詩を紹介する場面は、「生きる価値」や「幸せの意味」について深く考えさせられました。そして、「幸せは探すものではなく、そばにあるものに気づくことである」という話など余韻たっぷりの素敵な授業でした。



命の尊さと幸せの意味について語る〇〇〇〇氏

多感な時期を過ごす中学生。いろいろなものを見て、聞いて、たくさんのかんじます。思い通りにいくこともあれば、そうではない状況に落胆してしまうこともあると思います。そんな多感な時期だからこそ、「命」の大切さ、「生きる」ことの素晴らしさ、「幸せ」の意味について深く伝えていきたいものです。

明日から冬休みがスタートします。この時期に、ご家庭でも古屋さんの授業の感想をお子さんから聞きながら、「命」「生きる」「幸せ」等について、話し合ってみてはいかがでしょうか。

SOSの出し方に関する授業



SOSの出し方に関わる全校集会の様子

12月19日(火)に本校のスクールカウンセラー〇〇先生によるSOSの出し方に関わる講話がありました。「人はだれでも悩むことがあり、それを話すことは決して恥ずかしいこと弱いことではなく、自分の心を守る強さである」と伝えてくれました。また、SOSの「聞き手」になることも人の悩みに寄り添うために必要なことであると話されました。生徒たちは、自分の事として捉え、真剣に聞いている姿が印象に残る集会となりました。

第47回 苫小牧市主張発表大会

12月2日(土)に第47回苫小牧市主張大会がありました。本校を代表して2年〇組〇〇〇〇さんが「親と子」というテーマで発表しました。親と子の関係性について、自身の考えをまとめ、立派に発表することができました。特に、親子関係を「人間関係を築く基盤」と位置づけたことです。親と子は深く結びついており、自分自身はたくさんの愛情を受けて育てられたことに対してその有り難さを強調しました。今後もこの関係を深めていきたいとの意志を示し、内容の濃い主張に来場された方は、熱心に耳を傾けていました。



親子関係の在り方について主張する〇〇〇〇さん

食に関する指導(1年生)



食に関する指導の様子(1年生)

12月13日(水)、1年生の各教室において、〇〇小の〇〇栄養教諭をお招きして「食に関する指導」を行いました。夢をかなえるための食生活について、生活と栄養の視点から教えていただきました。子どもたちは真剣な眼差しで良い食習慣と必要な栄養分を学ぶことができました。

大会の記録

北海道中学校アイスホッケー大会

2回戦進出



学校閉庁日について

本日、第2学期終業式を迎えました。今学期も、子どもたちのために保護者・地域の方々に多大なるお力添えをいただき厚く御礼申し上げます。

さて、**12月29日(金)～1月3日(水)**は**学校閉庁日**とさせていただきます。学校閉庁日には職員が不在となるため、**学校への連絡等はこの期間外にお願いいたします。**ただし、緊急連絡が必要な場合は次の連絡先にお願いいたします。

【緊急連絡先】

12月29日(金)～1月3日(水)

苫小牧市役所

0144-32-6111